

第44回



令和8年度

入学式要覧



沖縄県立具志川高等学校

所在地 〒904-2236 うるま市喜仲3丁目28番1号

電話(098)973-1213 FAX(098)973-8441

令和8年4月7日

入学式 式次第

- 1 開式のことば
- 2 国歌及び校歌斉唱
- 3 新入生呼名
- 4 入学許可
- 5 式 辞
- 6 祝 辞
- 7 新入生代表あいさつ
- 8 新入生誓いのことば
- 9 祝電披露
- 10 閉式のことば



<校章>

全体として、真理を求め、正義を愛し、美を追究する、調和のある精神を象徴する。

・ひし形は、知性、意志、逞しさを表し、粘り強い精神力と研究意欲を象徴する。

表	紙： 具志川高校 40 周年記念校訓碑		
	揮毫者	校訓： 漢那 ころろ	自律： 山口 真愛
		創造： 栗國 愛海	挑戦： 高江洲 加奈枝
	指導：	書道講師 崎浜かおり	
壁画デザイン：	仲村渠 希実		
	制作：	1・2 年と壁画制作委員会、美術部	
	指導：	美術教諭 山口 都	

具志川高等学校 校歌

作詞 翁長 維行
作曲 與儀 幸英

くも一わきあがるとう一かいま
ゆめをせおいがてり今日一も
ぶんかのひかりみに一受まけ

のけいしよ うせり んり みは一るか
ためかーざするそ うぞう のたじしゅーかきの
ま

すねど せいらんわたるし ろのもと しんりのみちを
こころのこまにむちうちつ 徳つみかさね
あすのへいわをいのりつつ むすぶゆうじょう

もとめんときばう一あふ るる わたこ うど
知をみながきて きぎたえーあか らだ わたこ うど
輪となりて あーやーくし らの の わが 母 校

のせいき一にい ど一む い き一たか
くせかーけーよせ いしゅん い き一たか
一ぐー

しに し かわ こう こう さ か え あ れ

具志川高等学校 校歌

一、雲湧き上がる東海の
景勝千里みはるかす

青嵐わたる城の下

真理の道を求めんと

希望あふるる若人の

世紀にいどむ意気高し

二、夢を背負いて今日もまた
めざす理想の高き峰

心の駒に鞭うちて

徳積み重ね知を磋き

鍛えよ体たくましく

かけよ青春いまここに

三、文化の光身にうけて
薫る創造自主の学窓

明日の平和を祈りつつ

むすぶ友情輪となりて

ああ躍進の我が母校

具志川高校栄えあれ

目 次

校長式辞	1
育友会会長祝辞	2
学校経営方針	3
学校沿革概要	5
令和8年度入学生教育課程表	12
校時表・主な年間行事	13
学校案内図	14
沖縄県立高等学校管理規則	17
生徒心得	18
進路実現に向けて	22
特別進学クラスに関する規程	24
進路および就職への推薦に関する規定	25
育友会会則	26

式 辞

校長 福 地 修

うりずんの季節を迎え、校庭の木々は新緑に萌え、花々は春のうららかな日差しを浴びながら色鮮やかに咲き誇っています。本日は、育友会会長土屋查人様をはじめ、多くのご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和8年度第44回沖縄県立具志川高等学校入学式を挙行できますことを心より御礼申し上げます。

ただいま入学許可をいたしました240名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、職員一同、皆さんの入学を心から祝福し、歓迎いたします。

本校は昭和58年の創立以来、「G高」の愛称で地域の皆様に支えられながら中部地区の名門校としての存在感を示し、県内外の各分野でリーダーとして活躍する人材を数多く輩出してきました。その伝統はしっかりと受け継がれ、現在は校訓「自律」「創造」「挑戦(チャレンジ)」の下、人間性豊かで、優れた知性、逞しい心身を備えた新しい時代に対応できる創造性・国際性に富む人間の育成を目指して邁進しているところであります。

新入生の皆さん、今日の喜びを忘れず、これからは具志川高校の生徒として母校に誇りを持ってください。皆さんが母校に誇りを持ち、すばらしい校風を作ることにより、学校の伝統がさらに築き上げられていくのです。そして、本校で学ぶ喜びと目標を持ってください。大切なことは、一人ひとりが具体的な将来の目標を持つことです。本校で学ぶ三年間は、皆さんの人生を左右する大切な時間となります。自ら設定した目標に向かって果敢に挑戦し、粘り強く取り組んでいくことを期待しています。また、私たち教職員も全力で皆さんの学校生活を支えていく覚悟です。

さて、古くから言われている格言に、「盛年重ねて来たらず 一日再び晨成り難し 時に及んでまさに勉励すべし 歳月人を待たず」あるいは「少年老い易く学成り難し」という言葉があります。これは、「時間は止まることなく常に刻一刻と時を刻んでおり、その休まず進む時間を止められる者は誰もいない。また、若い時は二度とない。人間はあつという間に年老いるものである。さらには、一つの学問を究めるには長い年月が必要であり、決して一朝一夕に成果が現れるものではない。よって、いたずらに時間を浪費することなく、自らの夢の実現に向けて一日一生の如く学業に勤しむことが大事である」ということを示唆しているものです。今後の学校生活ではこれらのことを胸に刻んで奮励努力することを期待します。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。保護者の皆様におかれましては、お子様の健やかな成長を願い、将来を楽しみにしていることと思います。教育の効果をより確かなものにするためには、家庭・学校・地域社会が連携・協力することが最も重要となります。私たち教職員一同心を一つにして、生徒一人ひとりと向き合いながら教育活動に全力を尽くす所存であります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご臨席いただきました皆様に重ねて心から御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんが本日の入学式での感動と決意を忘れることなく、豊かな高校生活を創造し、これからの3年間で実り多きものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和8年4月7日

祝 辞

育友会会長 土屋 查大

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご入学をお祝い申し上げます。

今日、皆さんに何をお話ししようか悩み、先月具志川高校を卒業したばかりの私の娘に意見を聞いてみました。3年間の高校生活を終えた彼女が、新入生の皆さんに一番伝えたいことは、「何事にもチャレンジしてほしい」ということだそうです。

彼女は高校生活を振り返り、「挑戦しなくて後悔したこともあるけれど、勇気を出してチャレンジしたことで、一生忘れられない貴重な経験ができた」と話してくれました。この言葉は、これから新しい門出を迎える皆さんにぴったりのメッセージだと思います、私も使わせてもらうことにしました。

皆さんの多くは、将来の進路をまだ模索している最中かと思います。たとえ目標が決まっている人であっても、人生は長く、これから先どのようなことがあるかは誰にもわかりません。

だからこそ、この3年間、結果を恐れずにいろいろなことに挑戦し、たくさんの経験を積み重ねてください。その経験が、皆さんの糧となるはずです。

皆さんの高校生活が、実り多く、素晴らしい経験に満ちたものになることを心から祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。

ぜひチャレンジしてください！

令和8年4月7日

学校経営方針

1. 教育目標

教育基本法や本県教育目標に基づき、人間性豊かで、優れた知性、逞しい心身を備えた新しい時代に対応できる創造性・国際性に富む人間の育成を目指す。

- (1) 自 律：人権を尊重し、豊かな感性と自律の精神を持った生徒を育てる。
- (2) 創 造：知性と創造力を持ち、国際性豊かで新しい時代に対応できる生徒を育てる。
- (3) 挑 戦^{チャレンジ}：自らの可能性を信じ、果敢に挑戦し、計画的に行動する生徒を育てる。

2. 学校経営目標

- (1) 主体的に学習や諸活動に取り組む態度を養い、「生きる力」の育成に努める。
- (2) 校内情報を共有し、全職員の連携・協力のもとに、学校課題の解決に努める。
- (3) 積極的に研鑽を積み、教育的愛情と使命感をもって生徒の進路実現に努める。
- (4) 育友会（PTA）や関係機関等との連携を深め、信頼される学校づくりに努める。

3. 本年度の努力目標

- (1) 学習指導の充実
 - ① 授業においては、目指す資質・能力を明示し、「学ぶ意欲」を向上させるよう努める。
 - ② 単元や題材など内容のまとまりを見通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践を推進し、指導と評価の一体化の充実を図る。
 - ③ 生徒の実態把握（学習評価の分析等）に基づいた授業の工夫改善を行い、目指す資質・能力の向上に努める。
 - ④ スタディサプリを効果的に活用し、計画的に適切な学習課題を与え、自ら学ぶ学習態度の育成に努める。
 - ⑤ 早朝講座・夏期講座等の工夫改善を行い、各種入試に向けた資質・能力の向上に努める。
 - ⑥ 「大学入学共通テスト」について研究し、対応できる資質・能力の育成に努める。
 - ⑦ 年間指導計画に基づいた授業の充実と授業時数の確保を図る。
 - ⑧ 学校・生徒及び地域の実態に対応した教育課程の研究と編成に努める。
 - ⑨ 校内外の研修会等に積極的に参加し、専門知識と指導技術の向上に努める。
 - ⑩ 学習指導要領及び観点別学習状況の評価についての研究と実践を推進する。
 - ⑪ ICT機器（生徒1人1台端末）を活用した多様な学習方法を研究し、生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。

(2) 進路指導の充実

- ① キャリア教育を推進し、目的意識を高め、主体的に進路を選択する力を育てる。
- ② 3年間を通じた計画的・組織的な進路指導を行い、希望する進路の実現を図る。
- ③ 進路情報を共有し、個別指導を充実させることで進路決定率の向上を図る。
- ④ 模擬試験を奨励し、諸講座等の充実に努め、国公立大への進学増を図る。
- ⑤ 諸書類の提出期限を厳守させ、総合的な探究の時間や学校外活動、講習会等により、社会人となる心構えやマナーを身に付けさせる。
- ⑥ 自己のキャリア形成に生かされるように、キャリアパスポートの効果的な活用を図る。

(3) 生徒指導の充実

- ① 基本的な生活習慣を確立させルールやマナーの向上に努める（凡事徹底）。
- ② 人権の意義や重要性を認識させるとともに安全教育を徹底し、心身共に健全で、自他の生命を尊重する態度を育てる。
- ③ いじめを未然に防ぎ早期に対応する校内体制の整備に努める。
- ④ 特別活動の活性化に努め、自主性、協調性、連帯感を育む。
- ⑤ 部活動の「活動方針」を策定し、学業と部活動の両立を図る。
- ⑥ カウンセリング・マインドによる教育相談に努め、生徒の課題解決を支援する。

(4) 教育環境の整備と充実

- ① 施設・設備・備品等を整備し、その活用に努める。
- ② 校内美化・緑化を推進し情操豊かで潤いのある学習環境づくりに努める。
- ③ 美化作業等を通して勤労精神を培い、公共心・責任感を育成する。
- ④ 図書館の充実を図り、読書活動の推進に努める。
- ⑤ 保護者・地域社会・関係機関との連携に努め、社会に開かれた学校づくりを推進する。

(5) 校務処理の効率化

- ① 「勤務管理システム」の適正な運用に努める。
- ② 校内 LAN や教育機器の有効活用に努め、文書や情報の共有化を図る。
- ③ 文書や情報の整理保管を徹底し、情報流出の未然防止に努める。
- ④ 年休・出張の申請、提出文書等の期限を厳守し、適正迅速な処理に努める。

(6) 自主・自律の精神（期待される生徒像）

- ① 高い目標を持ち、自主的・計画的に学業に取り組む生徒
- ② 自ら「凡事徹底」を心がけ、実践する生徒
- ③ 主体性を持ち、自ら時間を管理し行動する生徒

学校沿革概要

令和5年度

- 4月 1日 校長 赤嶺信一、教頭 玉城淳、他 10名の職員就任
2日 全九州トランプ競技選手権大会 高校女子 3位 角南乃妃(3年)
7日 令和5年度就任式・始業式 第41回入学式(女子165名、男子75名、計240名)
10日 第1回実力テスト
11日 対面式・部紹介
12日 新入生オリエンテーション
17日 特進早朝講座開始
21日 新体力テスト・身体測定・心電図検査・胸部X線レントゲン検査
24日 校医検診開始(～5月12日) 希望者課外講座開始
- 5月 2日 新入生歓迎球技大会
13日 PTA総会 進路講演会 「5.15 復帰記念日」平和学習特設授業
14日 令和5年度九州ブロック大会沖縄県予選 スポーツクライミング競技 少年女子総合2位
星野陽花(3年) 国民体育大会出場
15日 二者面談(～5月19日)
22日 総体激励式
24日 交通安全講話
27日 沖縄県高等学校総合体育大会 競技開始
ソフトボール競技 男子ソフトボール部 3位
サッカー競技 男子サッカー部 3位
陸上競技400H 5位 龍口旺士朗(2年) 南九州大会へ
ボウリング競技 個人3位 小山嵐士(1年)
- 30日 生徒会長選挙
- 6月 8日 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト
アナウンス部門 高宮城七星(3年) 優秀賞
テレビドキュメント部門 優秀賞
(以上2部門は全国大会《東京》派遣)
創作テレビドラマ部門 優良賞
12日 期末考査(～15日)
16日 野球部激励式
21日 「6.23 慰霊の日」平和学習
22日 平和フィールドワーク(2年生)、遠足(1・3年生)
27日 防災訓練(火災)
28日 ヒップホップダンス部引退セレモニー
29日 生徒総会・生徒会新旧引継式
- 7月 5日 チアダンス部おひろめ会(引退セレモニー)
12日 薬物乱用防止講演会
14日 三者面談(～24日)
20日 校内弁論大会
25日 1学期終業式
27日 第57回沖縄県サッカー祭り B組 準優勝 男子サッカー部
29日 高体連加盟校全国選抜大会兼第37回東海北信越高等学校ボウリング選手権
男子個人総合優勝 小山嵐士(1年)

- 8月11日 第30回沖縄県高等学校演劇夏季研究大会 優秀賞 演劇部
演技賞 宮城佳歩(1年)
- 13日 第37回ボウリンピック 沖縄県大会 高校生の部 3位 小山嵐士(1年)
- 21日 第32回沖縄県高等学校野外スケッチ大会 優秀賞 當眞玲於奈(3年)
- 9月13日 第38回沖縄県高等学校対抗秋季陸上競技大会 400H 3位 龍口旺士朗(2年)
- 5日 第51回沖縄県高等学校音楽コンテスト木管楽器独奏の部 銀賞 新垣愛徠(1年)
- 15日 第15回学園祭(～16日) テーマ「G高祭とは99%の陽キャと1%の超絶陽キャが織りなす高貴な宴っ!?みななもの、祭りの始まりだぁー!!!」
- 21日 後夜祭(うるま市民芸術劇場)
- 10月12日 令和5年度新人大会・高文祭選手激励式
- 13日 学校説明会(中学生)
- 15日 自転車鍵掛け甲子園 優勝 具志川高校
- 27日 ハロウィンイベント(仮装大会)
- 28日 沖縄県高等学校新人体育大会 競技開始
陸上競技 400H 優勝 龍口旺士朗(2年)
ボウリング競技 個人優勝 小山嵐士(1年)
ソフトボール競技 男子3位
第71回全琉小中高校図画・作文コンクール 作文(韻文)
詩・短歌 優良賞 伊志嶺享子(3年)
- 29日 第47回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門
優良賞 金城伶弥(3年) 當眞玲於奈(3年)
- 11月 1日 第49回九州高校放送コンテスト
朗読部門 栄野比真帆(2年) 優秀賞
テレビ番組部門 優秀賞
ラジオ番組部門 優秀賞
(以上3部門は九州大会《大分》派遣)
朗読部門 下地瑠奈(2年) 優良賞
- 2日 うるま市地震・津波合同避難訓練
- 13日 第47回沖縄県高等学校総合文化祭 演劇部門
最優秀賞(団体)
演出賞 宮城佳歩(1年)
(九州大会《長崎》派遣)
- 29日 性・エイズ講演会
修学旅行団結式
- 30日 芸術鑑賞(東京サロシソフオーケストラ)
- 12月 2日 学校保健委員会(書面決議)
- 5日 修学旅行(2学年)(～8日) 東京・千葉
- 7日 多目的ステージ竣工式(同窓会寄贈)
- 15日 校内陸上競技大会(県総合陸上競技場)
- 20日 学級懇談会
- 21日 理科野外実習(1年) 北部やんばる一帯
第2回学校評議員会
- 25日 終業式
- 1月 6日 始業式 チアダンス・ヒップホップ部激励式
- 17日 1・2年生総合探究の時間発表会
- 19日 沖縄県高等学校文化連盟 活動賞 伊志嶺 享子(3年)
- 21日 1年 伊佐夏希 「高校生伝統芸能分野海外就業体験事業(琉球箏)」

アメリカ合衆国ハワイ州（～2月3日） 派遣

29日 3年生送別球技大会

2月16・19日 OIST 訪問（1年）

3月 1日 第39回卒業式 235名 卒業

令和6年度

4月 1日 事務長 亀島悟、他11名の職員就任

7日 令和6年度就任式・始業式 第42回入学式（女子166名、男子74名、計240名）

9日 第1回実力テスト

10日 新入生オリエンテーション

11日 対面式・部紹介

19日 新体力テスト・身体測定・心電図検査・胸部X線レントゲン検査

22日 課外講座開始

22日 校医検診開始（～5月21日）

5月 2日 新入生歓迎球技大会

10日 二者面談（～17日）

11日 PTA総会 進路講演会

第48回沖縄県高等学校文化連盟 囲碁将棋 夏季大会

個人 2位 瀬嵩 律樹（1年） 全国大会派遣

15日 サイバー犯罪防止講話

16日 総体激励式

28日 交通安全講話

30日 生徒会長選挙

6月 1日 沖縄県高等学校総合体育大会 競技開始

陸上競技 400H 2位 龍口旺士朗（3年） 南九州大会派遣

ボウリング競技 団体3位 小山嵐士（2年）、豊里友汰（2年）

全国選抜ボウリング大会派遣

2日 沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト 舞踊部門

金賞・高文連会長賞 奥本 美紅（2年） 三味線部門 銀賞 兼城愛佳（2年）

12日 野球部激励式

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト

創作テレビドラマ部門 最優秀賞

ラジオドキュメント部門 優秀賞

（以上2部門は全国大会《東京》派遣）

テレビドキュメント部門 優良賞

13日 期末考査～17日

20日 「6.23 慰霊の日」特設授業

21日 平和フィールドワーク（2年生）、遠足（1・3年生）

27日 生徒総会・生徒会新旧引継式

28日 防災訓練（火災）

7月 5日 チアダンス部おひろめ会（引退セレモニー）

8日 三者面談～18日

10日 薬物乱用防止講演会

11日 校内弁論大会

12日 ヒップホップダンス部引退セレモニー

- 18日 第1回学校評議員の開催
- 19日 1学期終業式
- 7月21日 第31回沖縄県高等学校演劇夏季研究大会 優秀賞 団体
演技賞 玉木千尋(1年)
- 8月21日 第34回沖縄県高等学校野外スケッチ大会 優秀賞 大城知穂(2年)
高体連加盟校全国選抜ボウリング大会2024 京都大会 男子個人6位 小山嵐士(2年)
- 9月19日 後夜祭(うるま芸術劇場)
- 21日 第14回体育祭 テーマ「マッスル マッスル マッチョ フェスティバルG高みんな
マチョリましょう～」
- 21日 第48回沖縄県高等学校総合文化祭
囲碁将棋部門(囲碁の部)
個人2位 瀬嵩律樹(1年) 九州大会派遣
第52回沖縄県高等音楽コンテスト
木管楽器独奏 金賞 シモンズさりな
- 10月13日 全沖縄学校対抗ボウリング選手権大会
男子個人戦 準優勝 小山嵐士(2年)
男子団体戦 準優勝 小山嵐士(2年)、豊里悠汰(2年)
個人・団体戦は全国大会派遣
- 13日 学校説明会(中学生)
- 22日 令和6年度新人大会・高文祭選手激励式
- 26日 沖縄県高等学校新人体育大会 競技開始
ボウリング競技 個人3位 小山嵐士(2年) 九州大会派遣
第48回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 優良賞 我如古奈央(2年)
- 27日 ハロウィンイベント(仮装大会)
- 30日 第72回全琉小中高図画作文書道コンクール 作文(韻文)
最優秀賞 伊志嶺拓子(1年)
- 11月 5日 第46回九州高校放送コンテスト沖縄大会
テレビ番組部門 優秀賞 ラジオ番組部門 優秀賞
以上2部門は九州大会派遣
うるま市地震・津波合同避難訓練
- 10日 第47回沖縄県高等学校総合文化祭 演劇部門
優秀賞(団体) 九州大会派遣
- 13日 令和6年度沖縄県高等学校文芸研究大会 文芸誌部門 優秀賞
- 22日 芸術鑑賞(執心鐘入)
- 27日 性・エイズ講演会
- 12月 5日 修学旅行(2学年) (~8日) 東京・千葉
- 6日 学校保健委員会(書面決議)
- 17日 学級懇談会
- 25日 終業式
- 1月 6日 始業式 チアダンス・ヒップホップ部激励式
- 31日 3年生送別球技大会
- 19日 第43回小橋川寛杯争奪高校生バスケットボール選手権大会
(第55回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会 沖縄県予選大会)
ベスト4 九州大会派遣
- 24日 沖縄県高等学校文化連盟 活動賞 伊志嶺 拓子(1年)
- 27日 「高校生伝統芸能分野海外就業体験事業(舞踊)」 奥本美紅(2年)
アメリカ合衆国ハワイ州(~2月5日) 派遣

- 2月22日 カジュアルFESTA2025 春 高校生ダンスコンテスト 準優勝 ヒップホップ部
 23日 第63回全沖縄児童生徒書き初め展
 金賞 又吉 涼羽 (2年) 兼堅 紗菜 (2年)
 3月1日 第40回卒業式 224名 卒業

令和7年度

- 4月1日 校長 福地修、他11名の職員就任
 7日 令和7年度就任式・始業式 第43回入学式 (女子155名、男子78名、計233名)
 8日 第1回実力テスト
 9日 新入生オリエンテーション
 11日 対面式・部紹介
 18日 新体力テスト・身体測定・心電図検査・胸部X線レントゲン検査
 24日 校医検診開始 (5/19まで)
 30日 新入生歓迎球技大会
 5月7日 交通安全講話
 9日 二者面談 (5/17まで)
 10日 第49回沖縄県高等学校文化連盟 囲碁将棋 夏季大会
 個人 優勝 瀬嵩結菜 (1年)
 個人 2位 瀬嵩律樹 (2年) 全国大会派遣
 13日 課外講座開始
 15日 総体激励式
 17日 PTA総会 進路講演会
 沖縄県陸上競技選手権大会
 女子A400mH 1位 仲西莉愛未 (1年)
 女子A400m 2位 仲西莉愛未 (1年)
 18日 第79回国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技
 少年女子の部 総合1位 島袋夢愛 (2年)
 27日 沖縄県高等学校総合体育大会 競技開始 (5/24~6/2)
 ソフトボール競技 男子準優勝 男子ソフトボール部 (合同チーム)
 陸上競技 女子400m 優勝 仲西莉愛未 (1年)
 女子400mH 準優勝 仲西莉愛未 (1年)
 南九州大会派遣
 ボウリング競技 男子個人優勝 小山嵐士 (3年)
 団体優勝 小山嵐士 (3年)、池原瑠人 (3年)
 全国選抜ボウリング大会派遣
 女子個人3位 鶴岡十美華 (2年)
 団体3位 鶴岡十美華 (2年)、津嘉山優衣 (1年)
 28日 サイバー犯罪防止講話
 30日 生徒会正副会長選挙
 31日 第13回沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト舞踊部門
 銅賞 上地葉奈美 (1年) 中村麻桜 (1年)
 6月4日 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト
 テレビドキュメント部門 優秀賞 全国大会《東京》派遣
 朗読部門 真鍋朱里 (1年) 優良賞
 研究発表部門 優良賞

- ラジオドキュメント部門 優良賞
- 5日 防災訓練（火災）
- 10日 野球部激励式
- 12日 期末考査～16日
- 20日 「6.23 慰霊の日」特設授業
- 27日 平和フィールドワーク（2年生）、遠足（1・3年生）
- 7月 1日 生徒総会・生徒会新旧引継式
- 5日 ヒップホップダンス部引退セレモニー
- 9日 薬物乱用防止講演会
- 10日 三者面談～17日
- 12日 チアダンス部おひろめ会（引退セレモニー）
- 17日 第1回学校評議員の開催
- 18日 1学期終業式
- 20日 第32回沖縄県高等学校演劇夏季研究大会 演技賞 宮城佳歩（2年）
- 8月 30日 沖縄県高等学校対校秋季陸上大会
女子A400mH 1位 仲西莉愛未（1年）
女子A400m 1位 仲西莉愛未（1年）
- 9月 12日 沖縄県高等学校音楽コンテスト
弦楽器独奏 金賞 浜川紗英（1年）
九州音楽コンクール県代表に推薦
ピアノ独奏 金賞 高山結衣（1年）
- 14日 第68回全沖縄高校バスケットボール選手権大会
女子バスケットボール部 3位
- 19日 第16回学園祭 テーマ「気持ちアチアチ 胸ドキドキ！かませこの時！G高祭」
（～20日）
- 10月 13日 学校説明会（中学生）
- 21日 令和7年度新人大会・高文祭選手激励式
- 25日 沖縄県高等学校新人体育大会 競技開始
陸上競技 女子400m 2位 仲西莉愛未（1年）
女子400mH 2位 仲西莉愛未（1年） 九州大会派遣
バスケットボール競技
女子 準優勝 女子バスケットボール部
ボウリング競技 女子団体3位 九州大会派遣
ソフトボール競技 男子 準優勝 男子ソフトボール部（合同チーム）
九州大会派遣
女子 3位 女子ソフトボール部
- 29日 ハロウィンイベント（仮装大会）
- 11月 5日 うるま市地震・津波合同避難訓練
- 9日 第49回沖縄県高等学校総合文化祭 演劇部門
最優秀賞（団体）九州大会派遣
演技賞 外當 琉姫（2年）
演出賞 宮城 佳歩（3年）
- 12日 令和7年度沖縄県高等学校文芸研究大会
文芸部誌部門 『飴の箱』 最優秀賞 文芸部
俳句部門 伊志嶺 拓子（全国総文祭派遣推薦）
詩部門 喜友名 伶弥（全国総文祭派遣推薦）
- 27日 芸術鑑賞（学校寄席）

- 12月 2日 修学旅行(2学年) ～5日 東京・千葉
10日 性・エイズ講演会
18・19日 学級懇談会
18日 第2回学校評議員会
19日 学校保健委員会
25日 終業式
1月 6日 始業式 チアダンス・ヒップホップ部激励式
27日 「高校生伝統芸能分野海外就業体験事業(舞踊)」 中村麻桜(1年)
アメリカ合衆国ハワイ州(～2月4日) 派遣
2月 3日 3年生送別球技大会
2月22日 第64回全沖縄児童生徒書き初め展
金賞 比屋根 くるみ(2年) 豊濱 優希(1年)
3月 1日 第41回卒業式 234名 卒業

共・専・総	教科	科目	標準 単位	1年	2年		3年					教科 合計	備考
					文	理	文			理			
							共通	選択1	選択2	共通	選択		
各 教 科 に 共 通 す る 教 科 目 (共 通 教 科 目)	国語	現代の国語文化	2	2								12~14	※国語探究・ 古典探究は分 割履修とする ※文型選択は 同じ科目を選 択してはなら ない。但し、生 物は選択12の セット履修す ること
		国語探究学設	2	2	2				2				
		古典探究学設	4		2	2				2			
	地理歴史	歴史総合	2	2								7~10	
		地理総合	2	2									
		世界史探究	3		4								
		日本史探究	3							3			
	公民	地理領域探究学設	3									2~6	
		政治・経済学	2		2	2					2		
	数 学	倫理	2									14~17	
数学Ⅰ		3	3										
数学Ⅱ		4		4	4								
数学Ⅲ		3								4			
数学A		2	2										
数学B		2			2								
数学C		2								2			
理 科	応用数学Ⅰ	2				3					8~14		
	総合数学Ⅰ	2								2			
	発展数学Ⅰ	2											
	物理学基礎	2	2										
	化学基礎	4		2	4					4			
	生物学基礎	2	2										
	地学基礎	4											
	物理学総合学設	4											
	化学総合学設	2				2							
	生物学総合学設	2											
保体	体育	7~8	2	3	3	3				3	10~12		
	保健体育学設	2	1	1	1								
芸 術	音楽Ⅰ	2	2								2~8		
	音楽Ⅱ	2		2									
	美術Ⅰ	2											
	美術Ⅱ	2											
	美術Ⅲ	2											
	書道Ⅰ	2											
	書道Ⅱ	2											
外 国 語	音楽総合研究学設	2									12~18		
	美術総合研究学設	2											
	英語コミュニケーションⅠ	3	4										
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4								
	英語コミュニケーションⅢ	4				4			4				
家 庭 情 報	応用英語理解学設	2				2					4		
	英語総合学設	2											
	英語探究学設	2											
専 門	家庭総合学設	4		2	2	2				2	2~4		
	情報活用学設	2	2										
共 通 教 科 ・ 科 目 単 位 数 合 計	家庭保育基礎	2~6									0~2		
	共通教科・科目単位数合計		28	28	28	24	0~2	2	26	2			
	専門科目単位数合計		0	0	0	0	0~2	0	0	0			
	総合的な探究の時間	プロジェクトG	3~6	1	1				1				
	単位数 小計			29	29				29				
	特別活動	HR活動	3	1	1				1				
	単位数 総合計			30	30				30				

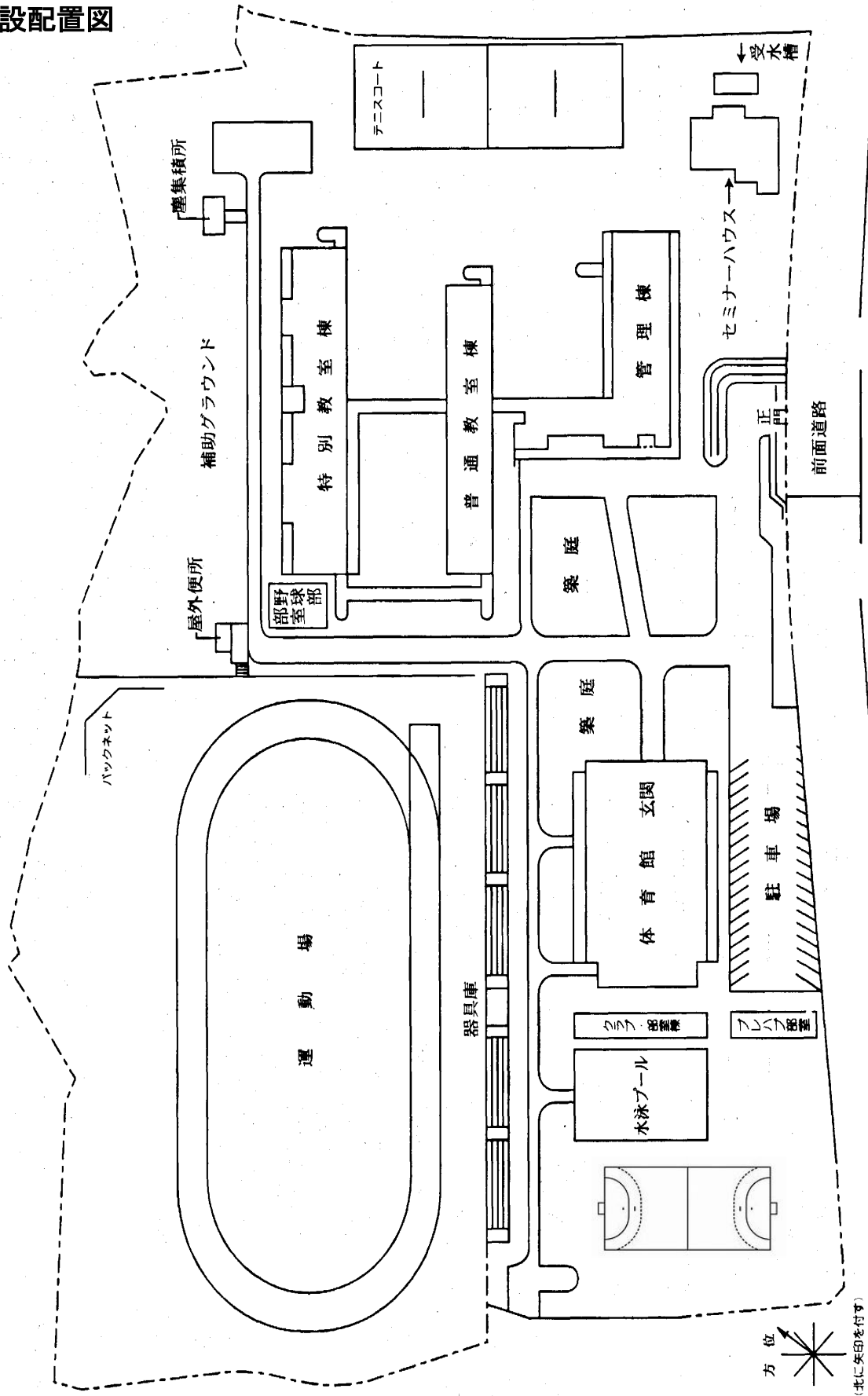
校時表・主な年間行事予定

	通常(50分授業)	短縮(45分授業)	ノースト(50分授業)	ノースト(45分授業)
早朝講座	7:35~8:20	7:35~8:20	7:35~8:20	7:35~8:20
職員朝礼	8:35~8:45	8:35~8:45		
予 鈴	8:45	8:45	8:45	8:45
SHR	8:50~ 9:00	8:50~ 9:00		
1校時	9:10~10:00	9:10~ 9:55	8:50~ 9:40	8:50~ 9:35
2校時	10:10~11:00	10:05~10:50	9:50~10:40	9:45~10:30
3校時	11:10~12:00	11:00~11:45	10:50~11:40	10:40~11:25
4校時	12:10~13:00	11:55~12:40	11:50~12:40	11:35~12:20
昼 食	13:00~13:45	12:40~13:25	12:40~13:25	12:20~13:05
予 鈴	13:45	13:25	13:25	13:05
5校時	13:50~14:40	13:30~14:15	13:30~14:20	13:10~13:55
6校時	14:50~15:40	14:25~15:10	14:30~15:20	14:05~14:50
清 掃	15:40~15:55	15:10~15:25	15:20~15:35	14:50~15:05
SHR	15:55~16:00	15:25~15:30	15:35~15:40	15:05~15:10

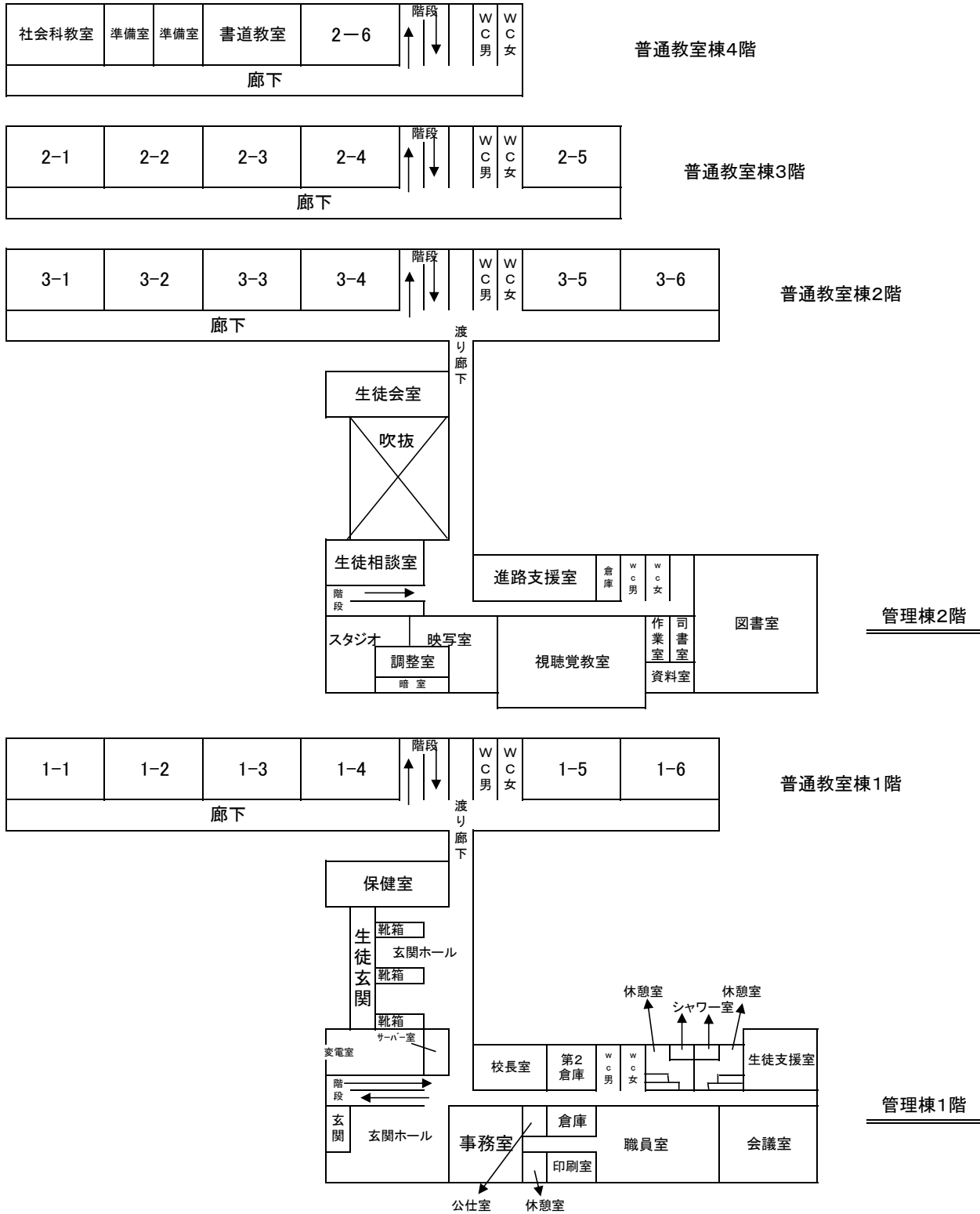
一学期		二学期		三学期	
4月	入学式, 始業式 HR 役員選出, 服装容儀指導第 1 回実力テスト・進路調査 早朝講座開始, 新入生オリエンテー ション図書館オリエンテーション 定期健康診断, 尿検査, 校医検 診新体力テスト 新入生歓迎球技大会	8月	夏期講座 2 学期始業式	1月	3 学期始業式 服装容儀指導 大学入学共通テスト 1, 2 学年末考査送別球 技大会
5月	PTA(育友会)総会・授業参観 二者面談 生徒会役員選挙高校総体 ※中間考査はありません	9月	服装容儀指導 第 2 回実力テスト(1・2 年) 体育祭または学園祭		
6月	期末考査 防災訓練(火災) 平和フィールドワーク, 遠足	10月	新人体育大会 ※中間考査はありません	2月	3 年生進学就職準備期 間卒業式予行 ワックス作業
7月	生徒総会 三者面談 1 学期終業式夏期 講座	11月	津波防災訓練 期末考査 芸術鑑賞	3月	卒業式 修了式・離任式 新クラス発表 ※年間行事予定は変更 される場合もあります。
		12月	2 年生修学旅行 2 学期終業式		

学校案内図

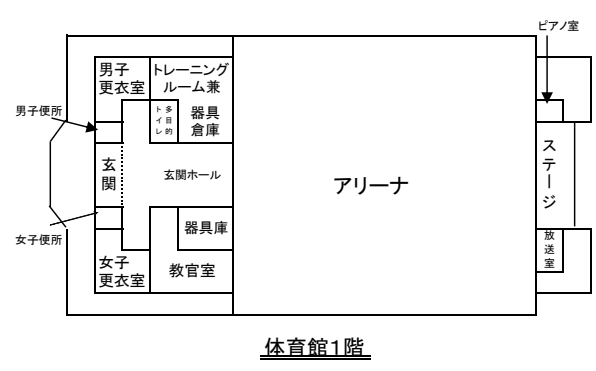
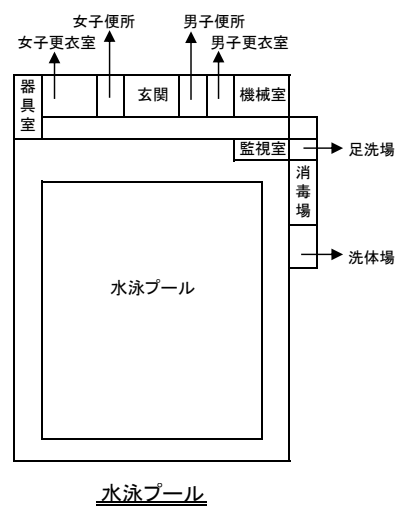
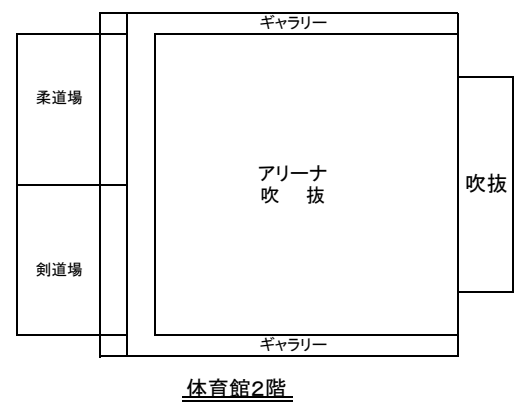
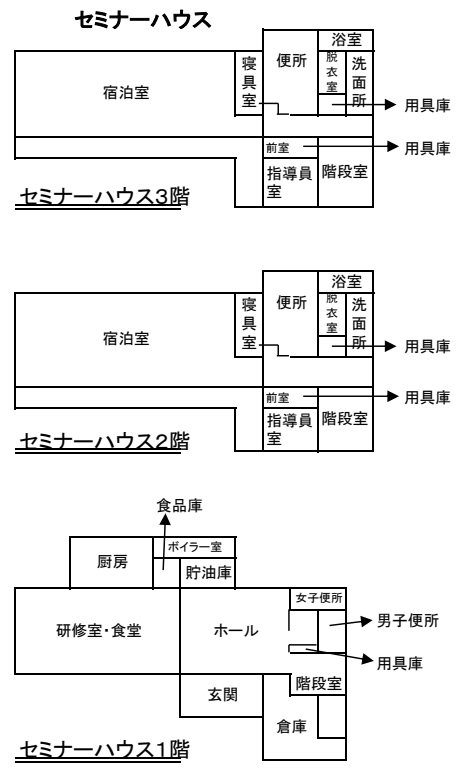
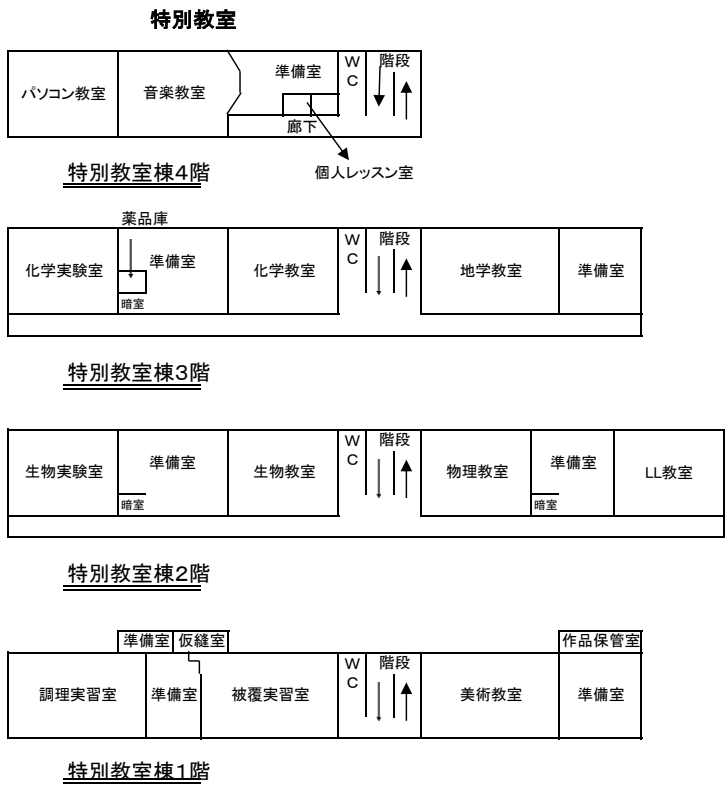
施設配置図



普通教室管理棟配置図



特別教室・体育館・セミナーハウス・プール等の配置図



沖縄県立高等学校管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条の規定に基づき、沖縄県立高等学校（以下「学校」という。）の管理運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2～18条省略

(入学の許可)

第19条 入学は、校長が許可する。

2項・・・省略

(入学の手続)

第20条 入学を許可された者は、校長の定める期日までに、保護者（成年者の場合は、保証人。以下同じ。）若しくは保護者が当該学区外に居住している者については保証人と連署した誓約書（第6号様式）及び戸籍抄本又は住民票の謄本に入学料を添えて、校長に提出しなければならない。

(入学許可の取消し)

第21条 入学を許可された者が、所定の期日までに前条に規定する手続を行わないときは、校長は、入学許可を取り消すことができる。

第22条省略

(授業料等)

第23条 授業料及び入学料の徴収については、沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例（昭和48年沖縄県条例第41号）の定めるところによる。

2 校長は、授業料を滞納中の生徒に対して、出席停止を命ずることができる。

3 校長は、授業料の滞納が3月を超える生徒に対して、退学を命ずることができる。

4 校長は、前項の規定により退学処分を行ったときは、退学処分報告書を速やかに教育委員会に提出しなければならない。

(保護者及び保証人)

第24条 保護者は、生徒に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、後見人又は後見人の職務を行う者）とする。ただし、成年に達した生徒に対しては、これに準ずるものとする。

2 保証人は、学校所在の市町村又は近隣の市町村に居住し、独立の生計を営む成年者で、学校に対して保護者とともに生徒に関する責任を負うことができる者でなければならない。

3 保護者若しくは保証人に変更があったとき、又は保護者若しくは保証人の住所若しくは氏名に変更があったときは、速やかに校長に届け出なければならない。

4 校長は、保証人を適当でないと認めたときは、これを変更させることができるものとする。

第25～43条省略

(懲戒処分)

第44条 校長及び教員は、教育上必要があると認めたときは、生徒に懲戒を加えることができる。

ただし、体罰を加えることはできない。

2 懲戒のうち、退学、停学及び訓告の処分は、校長がこれを行う。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

4 校長は、前3項の実施のため、必要な事項を定めるものとする。

5 校長は、生徒に懲戒による退学を命じたときは、速やかに教育委員会に報告しなければならない。

以下省略

生徒心得（令和8年度）

1 服装容儀

- (1) 学校指定の制服を着用する事。
 - ①ズボンタイプ
夏期 学校指定のズボン、シャツを着用する。
冬期 学校指定のズボン、シャツ、ブレザー（学ラン）を着用する。
シャツの裾はズボンに入れる。Tシャツ・ポロシャツは禁止とする。
 - ②スカートタイプ
夏期 学校指定のスカート、シャツを着用する。
冬期 学校指定のスカート、シャツ、ブレザーを着用する。
シャツの裾はスカートに入れる。スカートの丈は膝の中心とする。Tシャツ・ポロシャツは禁止とする。
 - ③シャツのボタンは第1ボタンまでは開けても良い。ネクタイ・リボンに関しては各有各の判断とする。ただし、儀式的行事や面接・学校代表で校外に出る際には第一ボタンまで閉めて、リボン・ネクタイを着用すること。
 - ④冬期にベストまたはカーディガン（色は指定なし・柄は無地）を着用する場合は必ずその上からブレザー（学ラン）を着用すること。
- (2) 頭髪は学習活動に支障のないものとする。染髪及びパーマ等の華やかな髪型及び奇抜な髪型は認めない。
- (3) 化粧、マニキュア、エクステンションやピアス（透明も含む）等の装飾品等は認めない。
 - ①色つきリップ・グロス等や眉染め、華やかな眉描き（地毛の色と異なる色）も禁止とする。
 - ②入れ墨やタトゥー等は禁止とする。
- (4) 縮毛矯正・まつげパーマ等は原則認めない。但し、日常生活に支障がある等の場合は、事前に相談し許可を得ること。相談がない者は認めない。
※違反した場合は指導（チェック指導）となる。

2 校内生活の心得

- (1) 朝は8時50分までに入室すること。登校してから下校までの時間（昼食時間は除く）は、無断の外出を禁止する。但し、校舎内での活動は、責任教諭の指導のもと、19時まで行うことができる。
- (2) 昼食については弁当持参を原則とする。昼食時間のみ昼食購入のための外出を認める。
- (3) 学校へは学習用具以外は持ち込まない。（部活動で使用するものは可）
- (4) 早朝練習などの部活動着での登校は、7時45分までとする。

3 校外生活の心得

- (1) 飲酒、喫煙の厳禁。居酒屋、遊技場等、未成年者立ち入り禁止場所への出入りを禁ずる。
- (2) 夜間外出制限時間は沖縄県青少年保護育成条例に従い22時から翌日の4時までとする。外出するときは保護者同伴とする。
- (3) 合宿、クラス会への参加は、保護者の承諾を得て学校長に届け出る。
- (4) オートバイ、乗用車の免許取得及び運転は全面的に禁止する。（高校生の運転する車両への同乗も含む）但し、3年生で夏休み以降に免許取得を希望する生徒については、本校安全指導及び免許取得に関する規程によるものとする。
- (5) 外泊は厳重に慎む。

4 遅刻、欠課、欠席について

- (1) 遅刻について
 - ①8時50分以降に教室外にいた生徒は遅刻とする。
 - ②遅刻した生徒は担任の指導を受ける。また、改善がみられない場合は生徒支援のしおりに準じて指導を行う。
※3回→担任による指導及び反省文 5回→生徒支援部による指導（奉仕作業1時間）
7回→保護者同席の上、管理者による指導 10回→さらに強い指導
 - ③授業の遅刻は、授業開始後25分までとする。

(2) 欠課について

- ①欠課する場合は、事前にHR担任又は副担任へ連絡を入れる。
- ②正当な理由もなく欠課した生徒は、原則として担任が指導する。但し、行動に改善が見られない場合は関係する職員で指導にあたる。
- ③授業においては、授業開始後25分をすぎて入室したものは、欠課とみなす。

(3) 欠席について

- ①正当な理由により欠席しようとする生徒は、保護者より学校（スクリレ）に連絡をする。
- ②無届け欠席の多い生徒についてHR担任は、保護者と連絡を取り合い、学年会、生徒支援部、校長、教頭と連携をとり適切な指導を行う。

5 学習活動について

- (1) 授業開始時間までに教室に入り、着席して授業の準備をしておくこと。（ノーチャイム）
- (2) 自習時間は自分の席で静かに学習し、隣の授業の迷惑にならないようにする。
- (3) 家庭でも計画的、継続的に学習する習慣を身につけるよう努める。
- (4) 家庭学習に必要な教材、教具、制服等は必ず持ち帰ること。
- (5) 授業中は机上に飲み物等を置かないこと。机上の整理整頓（不必要な教科書・参考書）

6 部活動について

- (1) 多くの生徒が部活動に参加することが望ましい。入退部は顧問に届け、承認を得ること。
- (2) 活動時間は原則として19時30分までとする。
- (3) 定期考査の1週間前から考査が終了するまでは、すべての部活動を停止する。但し、試合及び発表会等が考査期間中または考査前1週間以内または考査終了後3週間以内にある場合は、活動願を生徒支援部に提出し、学校長の許可を得て、行うことができる。その際の活動時間は、2時間以内とする。考査が休日をはさむ場合は、その休日を含めて7日間の停止とする。実質的に土日をはさむ場合は、考査5日前から部活動停止になる。
- (4) 部室は特別な事情のない限り、校時中は使用しない。
- (5) 部室は常に整理整頓、施錠をしっかりと行い、盗難・火災等の予防に心がける。

7 交通安全指導及び免許取得に関する規程

- ① 本校の生徒はオートバイ、乗用車の免許取得、運転は全面的に禁止する。
(高校生の運転する車両への同乗も含む。)
- ② 運転免許を取得しようとする生徒は、3年生の夏休み以降に学業や学校行事に支障のないように練習し、運転免許を取得することができる。
また、免許取得について、次項を厳守しなければならない。
 - (1) 運転免許取得のための練習許可願いを提出し、学校長の許可を得ること。
 - (2) 欠席や欠課をして教習所に通わないこと。
 - (3) 仮免許試験、適性検査、学科試験、免許交付の為の欠席欠課については、学級担任に届け出をしなければならない。(但し、欠席は届出欠席、欠課は届出欠課とする。)
 - (4) 免許取得後は、すみやかにホームルーム担任を通して、生徒支援部に速やかに届け出ること。
 - (5) 免許取得後（仮免許を含む）は、保護者同乗の場合に限り保護者責任のもと運転ができる。

8 アルバイトについて

- (1) アルバイトは、一時的・恒常的に関わらず原則として禁止。
- (2) 家庭の経済的理由など、やむを得ない事情によりアルバイトを行う場合は、保護者等の責任の下で行う。高校生にふさわしい職種を選ぶこと。その際には、所定の「アルバイト許可申請書」を生徒支援部に提出し、校長の許可を得なければならない。
- (3) 無許可でアルバイトをした場合は、生徒支援部による厳重注意を行う。(保護者連絡)

9 自転車通学について（電動キックボード、スケボー等での通学は不可）

- (1) 自転車通学については許可制です。自転車安全点検（前照灯・反射板・前後ブレーキ・ツーロック・防犯登録等）後、駐輪許可証を発行する。許可は自転車に限る。
- (2) 許可車両は所定の駐輪場にツーロックで駐輪すること。
- (3) 道路交通法・マナー（左側車道通行・歩道歩行者優先・2人乗り禁止等）を守ること。
- (4) ヘルメット着用（努力義務）

10. スマートフォン・携帯電話、その他通信端末機器について

- (1) スマートフォンは朝のSHRから帰りのSHR終了時（昼食時間は除く）までの使用を禁止する。ただしHR担任または教科担任の許可を受けた場合、授業等でのスマートフォン使用を認める。
- (2) 上記に反して使用している場合は、指導対象（チェック指導）とする。

11 チェック指導、帰宅指導について

- (1) ①スマートフォン・携帯電話の違反使用、②頭髪（染髪等）に関する事、③制服に関する事、④化粧（色付きリップ・まつげパーマ等）、⑤エクステンションやピアス（透明も含む）など装飾品等の違反に対して行う。

	チェック指導段階
1回目	担任の口頭による指導
2回目	〃 (担任より保護者へ連絡)
3回目	身なり係による指導と反省文（担任より保護者へ連絡）
4回目	生徒支援部同席による教頭指導と反省文（担任より保護者へ連絡）
5回目	生徒支援部同席による校長指導と反省文 嚴重注意指導（担任より保護者へ連絡）
6回目以降	生徒支援部が主体となり関係職員との連携を図りながら生徒の実態に応じた指導（担任より保護者へ連絡）

- (2) 帰宅再登校指導（様式5）

染髪・パーマ・華美な髪型・規定外の制服着用等、その場で改善できない違反に対して生徒支援部が判断し帰宅再登校指導を行う。

※約束した時間までに生徒支援部のチェックを受け改善が認められた場合は指導開始時から確認した時間を出席扱いとする。戻ってこなかった場合は届出欠課扱いとする。

12. 懲戒指導等について

- (1) 懲戒の段階は以下とし問題行為の内容により何段階から始めるかは原則として（2）の通りとする。同じ問題行動の2回目以降の指導は次の段階へ進む。

第1段階：訓告（特別指導5日）	：無許可の免許取得、深夜徘徊
第2段階：停学5日間	：飲酒・喫煙または同席、車両運転ならび同乗、カンニング
第3段階：停学10日間	
第4段階：停学15日間	
第5段階：審議の上、退学勧告も含め更に強い指導	

- (2) 指導方法（内容）について

- ①喫煙・タバコ、喫煙道具所持（電子タバコ等も含む）は停学5日間、同席者も同様の指導とする。
- ②飲酒（ノンアルコールビール等も含む）は停学5日間、同席者も同様の指導とする。
- ③車両運転した者及び高校生（他校生徒含む）の運転する車両に同乗した者は停学5日間。ただし、道路交通法違反などをした場合は回数に関わらず、審議の上強い指導（懲戒）を行う。
- ④無届で運転免許を取得した者は懲戒指導（訓告）とする。
- ⑤午後10時から午後11時前の深夜徘徊は（嚴重注意）、午後11時から翌日午前4時までの深夜徘徊は懲戒指導（訓告）を行う。

- ⑥無許可でアルバイトを行った者は生徒支援部による嚴重注意を行う。
- ⑦不正行為（カンニング）は停学5日間とする。当該科目の得点を0点とする。
- ⑧その他、生徒としての本分に反した行動のあった者は、その状況に応じて指導方法を検討する。
（薬物使用・所持、窃盗、暴力、脅迫、器物破損、賭博行為、入れ墨やタトゥーは退学勧告も視野に入れ厳しく指導する。）
- ⑨いじめや誹謗中傷、SNS等によるなりすまし、他人のプライバシーや人権侵害、個人アカウントの乗っ取り、盗撮等は退学勧告も視野に入れ厳しく指導する。
- ⑩1度に複数の指導内容となった場合は原則として重い方を取り、その都度検討する。

13. 盗難予防の取り組み

- (1) 個人の持ち物は学年、組、番号、氏名を明記する。
- (2) 教室移動の際財布等の貴重品は教室に置かない。
- (3) 空き教室への出入りをしない。
- (4) 自転車は所定の駐輪場にツーロックで駐輪すること。また、天候不良等の理由を除き、夜間の駐輪（駐輪して帰宅すること）は避けること。

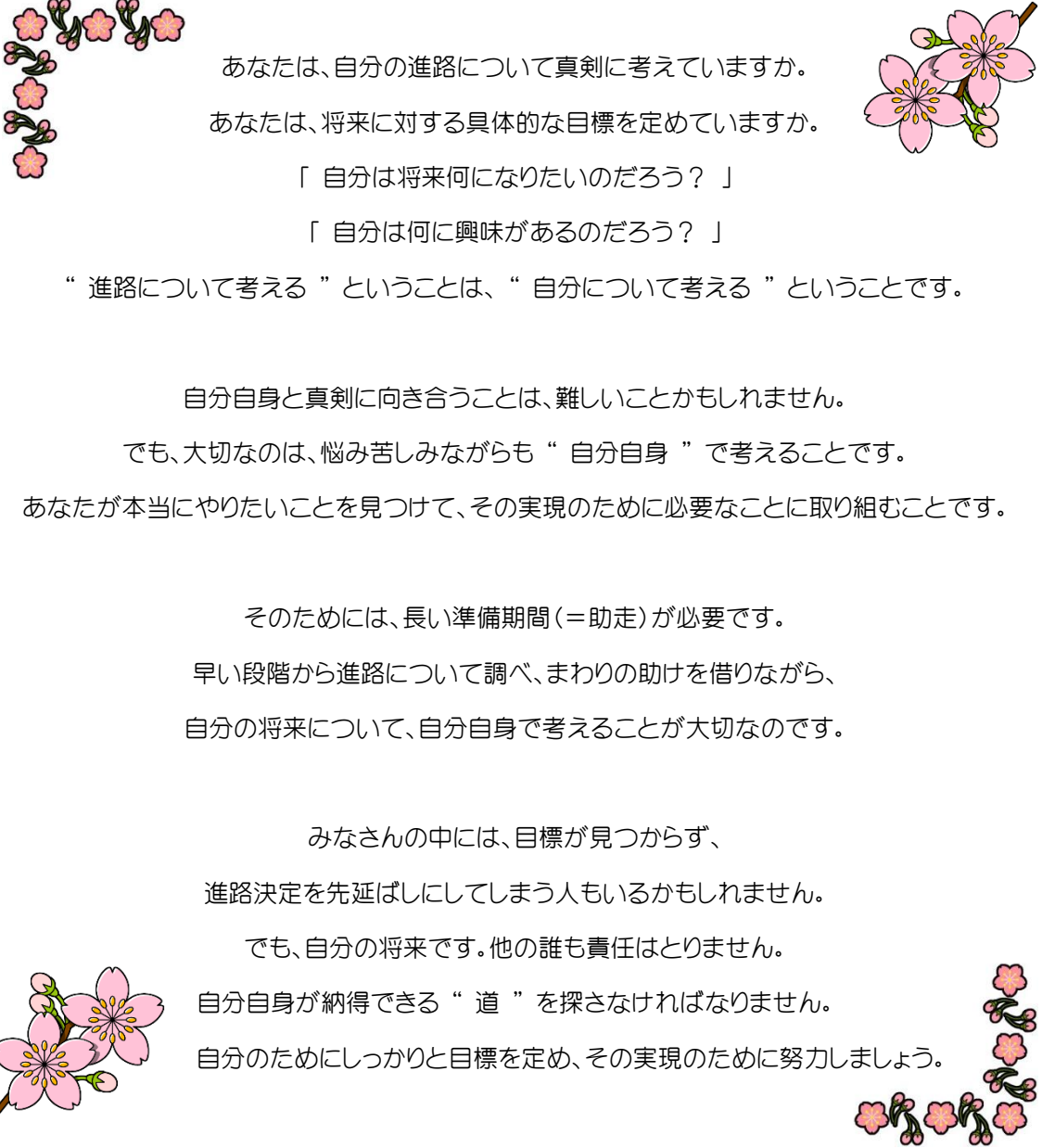
保護者の皆様へ

登下校時の交通安全の確保について

- ◎登下校時間帯は、本校正門前及び正門前の信号付近は非常に渋滞します。急発進やUターンなど危険な運転もみられます。生徒の乗り降りは、バス停留所の手前もしくは信号を越した**比較的安全な場所**を選んで下さるようお願いいたします。また、**送迎目的のコンビニ駐車場利用**もおやめ下さい。
- ◎生徒送迎車両の校内乗り入れは禁止しています。生徒の安全確保のためにご協力をお願いします。
※部活動への送迎に関しても同様とする。

進路実現に向けて

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから始まる本校での3年間の生活が、皆さんの人生の転換期（ターニング・ポイント）となれるよう、すべての先生で支えていきます。皆さんも自分を信じて、授業や部活動、学校行事などの高校生活を楽しみ、そして自分の選択で、自らの人生を歩んでください。進路支援部から次のメッセージを送ります。



あなたは、自分の進路について真剣に考えていますか。
あなたは、将来に対する具体的な目標を定めていますか。

「自分は将来何になりたいのだろう？」
「自分は何に興味があるのだろう？」

“進路について考える”ということは、“自分について考える”ということです。

自分自身と真剣に向き合うことは、難しいことかもしれません。
でも、大切なのは、悩み苦しみながらも“自分自身”で考えることです。
あなたが本当にやりたいことを見つけて、その実現のために必要なことに取り組むことです。

そのためには、長い準備期間（＝助走）が必要です。
早い段階から進路について調べ、まわりの助けを借りながら、
自分の将来について、自分自身で考えることが大切なのです。

みなさんの中には、目標が見つからず、
進路決定を先延ばしにしてしまう人もいるかもしれません。
でも、自分の将来です。他の誰も責任はとりません。
自分自身が納得できる“道”を探さなければなりません。
自分のためにしっかりと目標を定め、その実現のために努力しましょう。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。今、私たちが生きる社会は驚異的なスピードで変化しており、それに順応し、新たな価値を創造することが求められています。高校生になったわが子の成長を願いつつ、自立への歩みを応援する気持ちで接して頂くと幸いです。『保護者』から『自立支援者』へ、お子様とともに、進んでいきましょう。

2025年度 41期生 進路決定状況（第一志望）

2026年3月30日現在

県外国公立大学

学校名	男子	女子	合計
1 北九州市立大学	1	0	1
2 島根県立大学	0	1	1
3 静岡大学	0	1	1
合計	1	2	3

県内国公立大学

学校名	男子	女子	合計
1 琉球大学	18	13	31
2 名桜大学	11	12	23
3 沖縄県立芸術大学	0	3	3
4 沖縄県立看護大学	1	2	3
合計	30	30	60

県内私立大学

学校名	男子	女子	合計
1 沖縄国際大学	10	27	37
2 沖縄大学	2	7	9
3 沖縄キリスト教学院大学	0	6	6
合計	12	40	52

県内短期大学

学校名	男子	女子	合計
1 沖縄女子短期大学	1	2	3
2 沖縄キリスト教短期大学	0	2	2
合計	1	4	5

県外私立大学・短期大学

学校名	男子	女子	合計
1 慶応義塾大学	0	1	1
2 徳島文理大学	0	4	4
3 福岡大学	0	1	1
4 美作大学	0	1	1
5 名城大学	0	2	2
6 東亜大学	0	1	1
7 長崎国際大学	1	1	2
8 駒沢女子大学	0	1	1
9 神戸松蔭大学	0	1	1
10 鈴鹿医療科学大学	0	1	1
11 九州産業大学	0	2	2
12 東京農業大学	0	1	1
13 京都芸術大学	0	1	1
14 国際医療福祉大学	0	1	1
15 金城大学	0	1	1
16 純真学園大学	0	1	1
17 長崎外国語大学	0	1	1
18 秀明大学	0	1	1
19 芝浦工業大学	1	0	1
20 山野美容芸術短期大学	0	1	1
合計	2	24	26

県内専門学校等

学校名	男子	女子	合計
1 ぐしかわ看護専門学校	0	15	15
2 北部看護専門学校	0	3	3
3 浦添看護専門学校	0	3	3
4 沖縄看護医療専門学校	0	1	1
5 沖縄歯科衛生士学校	0	2	2
6 沖縄リハビリテーション福祉学院	0	3	3
7 沖縄総合医療学院	1	4	5
8 専門学校日経ビジネス	5	0	5
9 インターナショナルリゾートカレッジ	1	3	4
10 沖縄ビューティー&ブライダル専門学校	0	1	1
11 KBC国際電子ビジネス	0	1	1
12 琉球調理製菓専門学校	0	1	1
13 インターナショナルデザインアカデミー	0	1	1
14 サイ・テク・カレッジ美浜	1	0	1
合計	8	38	46

県外専門学校等

学校名	男子	女子	合計
1 ユマニテク看護助産専門学校	0	2	2
2 福岡カレッジオブビジネス	0	1	1
3 ESPエンタテインメント東京	1	1	2
4 神戸製菓専門学校	0	1	1
5 福岡ビジネス・アカデミー	0	1	1
合計	1	6	7

大学校

学校名	男子	女子	合計
1 防衛大学校	0	1	1
合計	0	1	1

公共職業安定施設等

学校名	男子	女子	合計
1 沖縄職業能力開発大学校	1	0	1
合計	1	0	1

就職

就職内定先	男子	女子	合計
1 株式会社共立メンテナンス	0	1	1
2 東洋ワークセキュリティ沖縄(株)	0	1	1
3 関東信越国税局	0	1	1
4 宜野湾市役所	1	0	1
5 株式会社アステム	0	1	1
6 株式会社ベッセルホテル開発	0	1	1
合計	1	5	6

留学

学校名	男子	女子	合計
1 語学留学など	0	3	3

全体の合計	57	153	210
-------	----	-----	-----

進路決定率

89.7%

特別進学クラスに関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、特別進学クラス（以下「特進クラス」という。）に関する必要な事項を定める。

(設置目的)

第2条 特進クラスは学力の向上を期し、国公立大学、県外難関私立大学への進学を目指す生徒のために設置する。

(特進クラスの特色)

第3条 特進クラスは以下の特色を持つ。

- 1 夏期講座（前期）は全員必修とする。
- 2 大学進学に向けた取り組みを早期に導入する。
- 3 進路支援部が指定する全国模試を受験する。
- 4 全員が大学入学共通テストを受験する。

(クラス編制)

第4条 以下の内容で編制を行う。

- 1 原則として1学年2クラス各40名、2・3学年は理型に各1クラス40名で編制する。
- 2 新1年生のクラス編制については以下のとおりとする。
 - (1) 生徒の希望と保護者の同意があること。
 - (2) 国公立大学、県外難関私立大学への進学を目指していること。
 - (3) 上記(1)(2)を満たしたうえで高校入試の内申と一般入試（推薦合格者も受験をする）の点数及び調査書に記載された勤怠をみて総合的に判断する。
- 3 新2・3年生のクラス編制については以下のとおりとする。
 - (1) 生徒の希望と保護者の同意があること。
 - (2) 国公立大学、県外難関私立大学への進学を目指していること。
 - (3) 上記(1)(2)を満たしたうえで評定と第3条第3項で指定した全国模試・実力テストの偏差値及び勤怠状況をみて総合的に判断する。勤怠状況とは学年末における勤怠をさす。特進クラスについては夏期講座の勤怠も含む。また、授業の欠席・欠課に関しては、届出・無届けに関係なく各々10回以上は審議の対象とする。

(その他)

第5条 特進クラスを運営していく上で以下のことに留意する。

- 1 大学入学共通テスト等に対応する教育課程の編成を研究する。

進路及び就職への推薦に関する規程

第1条 趣旨

この規定は、進学、就職に関して生徒が推薦を希望する場合、公平かつ責任ある推薦を行うための必要な事項を定めるものとする。

第2条 推薦委員会

- (1) 推薦を希望する生徒の推薦の可否を審議するために推薦委員会(以下「委員会」と称する)を設置する。
- (2) 委員会の構成は、学校長・教頭・進路支援部代表及び担当職員・3学年担任及びその他関係職員とする。
- (3) 委員会を代表するのは学校長であるが、便宜上、実務は進路支援部が行う。

第3条 推薦基準

推薦は(1)～(4)のすべての推薦基準を満たす生徒が希望した場合に、審議の上で行う。

- (1) 学業成績・・・全学年の学習成績の状況が4年制大学3.0以上、短大2.9以上、専修・各種学校2.8以上であること。但し、HR・生徒会・部活動等における活動が特に顕著であると認められる場合は、0.1を減じた学習成績の状況とする。
- (2) 勤怠状況・・・各学年とも無届欠課、無届欠席、朝のSHRにおける遅刻が各々5回以下であること。但し、顕著な向上が認められるものについては、委員会に諮って推薦の可否を審議し職員会議にて決定する。
- (3) 人物性行・・・人物・性行が良好であること。
- (4) その他
 - ①当該校から学業成績について特に指定がある場合は、本校の推薦基準を満たした上で、その基準に従って審議する。
 - ②欠席・欠課総数がそれぞれ各学年15回を超える生徒については委員会に諮って推薦の可否を審議し、職員会議にて決定する。※懲戒指導を受けた生徒については、上記(1)、(2)の条件を満たしていても委員会に諮って推薦の可否を審議し、職員会議において決定する。なお、校内推薦決定後も上記内容に準ずる。

第4条 推薦出願の手続き

- (1) 推薦を希望する生徒は保護者の承諾を得て、推薦願書に必要事項を記入し誓約書を添えてHR担任に申し出ること。
- (2) HR担任は選考のための資料を作成して進路支援部担当係に提出する。

第5条 留意事項

- (1) すべての推薦希望者は、委員会を経ることを原則とする。
- (2) 専願推薦出願は一人一校とする。但し、推薦校に不合格となった場合は、他の推薦を希望することができる。
- (3) 大学等に指定枠があり、かつ、希望者が指定人数を超えている場合においては、次の資料を基にして総合的に審査し、推薦する者を決定する。(資料略)
- (4) 専願推薦合格が決定した生徒は、必ず当該校に入学すること。合格後の入学辞退は原則として認めない。
- (5) 総合型選抜入試による出願の場合も誓約書の提出を義務づける。
- (6) 就職が内定した者は原則として入社しなければならない。

沖縄県立具志川高等学校育友会（PTA）会則

（名称及び事務所）

第 1 条 本会は、沖縄県立具志川高等学校育友会（PTA）と称し、事務所を具志川高等学校内に置く。

（目的）

第 2 条 本会は家庭と学校の協力によって、学校の教育活動を助成し、生徒の健全な育成を図るとともに、会員相互の親睦を深め、会員みずからの資質向上に努めることを目的とする。

（会 員）

第 3 条 本会の会員は、次の各号に掲げる者とする。
1, 具志川高等学校に在籍する生徒の保護者及び学校職員。
2, 本会の目的に賛同し、評議員会で承認された者。

（事 業）

第 4 条 本会は、本会の目的達成のために次の事業を行う。
1, 生徒の学習活動、特別活動を助成振興するための事業。
2, 家庭、学校及び地域社会との連携を図る。
3, 会員の研修活動を奨励するための事業。
4, 会員の親睦と福利厚生を図る事業。
5, 表彰に関すること。（規定は別に定める）
6, その他本会の目的達成に必要と認められる事業。

（機 関）

第 5 条 本会に、次の機関を置く。
1 総 会 2 評議員会 3 三役会及び拡大役員会 4 部 会
5 学年会 6 監査員会

（総 会）

第 6 条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。
1, 定期総会は、毎年度始めに開き、会務報告及び事業報告、決算の承認、事業計画及びその他必要な事項を審議する。
2, 臨時総会は、会長が必要と認めた時に開くものとする。

（評議員会）

第 7 条 評議員会は、次の事項を審議する。緊急の場合は代行することができるが、重要案件については、次期総会において報告する。
1, 総会に提出する事業計画、予算案、その他の案件。
2, 部会及び学年会から具申された事項。
3, 予算の補正に関すること。
4, 監査員の選出に関すること。

（三役会及び拡大役員会）

第 8 条 三役会及び拡大役員会の機能及び召集については、次の通りとする。
1, 三役会は、正副会長、顧問、事務局長、幹事、書記会計で構成する。
2, 拡大役員会は、正副会長、顧問、事務局長、正副部長、学年正副部長、幹事、書記会計で構成する。
3, 三役会及び拡大役員会は、評議員会へ提案する議案を審議する。

（部 会）

第 9 条 本会は、次の部を設け、部会を通してそれぞれの事業を行う。

- 1, 総務部 企画、庶務、予算、決算、会員の福利厚生に関すること。
文化、広報、新聞発行等。
地域や家庭、学校での保護者の役割に関すること。
- 2, 体育部 体育、レクレーション、校内美化企画等。
- 3, 生活指導(支援)部 生徒の校内外生活指導に関すること。
- 4, 進路指導部 生徒の進学、就職、進路指導に関すること。

(学年会)

第 10 条 学年会は、必要に応じて開くものとし、当該学年の行事を企画運営する。

(監査員会)

第 11 条 監査員会は、毎年度必要に応じて、監査する。

(召集)

第 12 条 各機関の召集は、次の通りとする。

- 1, 総会は年度始めに会長が召集する。
- 2, 評議員会、三役会及び拡大役員会は、会長が必要と認めた時に召集することができる。

(役員)

第 13 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名 (保護者)
- (2) 副会長 3名 (保護者)
- (3) 顧問 1名 (校長)
- (4) 事務局長 1名 (教頭)
- (5) 評議員 HR 代表、地域代表及び学校職員のそれぞれ若干名
- (6) 監査員 3名 (保護者 2名及び学校職員 1名)
- (7) 部長 各 1名 (保護者)
- (8) 副部長 各 2名 (保護者 1名及び学校職員 1名)
- (9) 学年部長 各 1名 (保護者)
- (10) 学年副部長 各 2名 (保護者 1名、学校職員 1名)
- (11) 幹事 若干名 (事務長、渉外係他学校職員)
- (12) 書記会計 2名

(役員の仕事)

第 14 条 役員の仕事は次の通りとする。

- 1, 会長は、本会を代表し、本会の会務を統括する。
- 2, 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその仕事を代行する。
- 3, 顧問は、会長の相談に応じる。
- 4, 事務局長は、本会の庶務を統括する。
- 5, 評議員は、会長の諮問に応じ、会務運営の緒案件を審議する。
- 6, 監査員は、本会の会計監査を行う。
- 7, 部長は、それぞれの部の事業の企画運営にあたる。
- 8, 副部長は、部長を補佐し、部長事故ある時はその職務を代行する。
- 9, 幹事は、会長の命により、会務の運営にあたる。
- 10, 書記会計は、本会の一般事務を処理し、会計事務を処理する。

(役員を選出)

第 15 条 役員を選出は次の通りとする。

- 1, 年度始めに、各学級ごとに若干名の評議員を選出する。
- 2, 学校職員の役員は、各部及び各学年の代表をもってあてる。
- 3, 正副会長、監査員、幹事、書記会計は、評議員で選出し、総会の承認を得る。
- 4, 各部の部長は、各部で互選し、会長が委嘱する。
- 5, 学年部長は学級委員で互選し、会長が委嘱する。

(役員任期)

第 16 条 役員任期は1年とする。但し、再任を妨げない。

- 1, 役員に欠員が生じた時は随時補充し、その任期は前任者の残任期間とする。
- 2, 役員は任期満了後も、後任者の就任までその任務にあたる。

(役員手当及び事務局職員手当等)

第 17 条 役員及び事務局職員の手当は次の通りとする。

- 1, 本会の役員に、予算の範囲内において別表1の通り諸手当を支給することができる。
- 2, 本会の事務局職員に、予算の範囲内において別表2の通り諸手当を支給することができる。

(議 決)

第 18 条 すべての会議において、成立及び議決は次の通りとする。

- 1, 構成員の過半数をもって成立する。但し、会長が必要と認めた場合はその限りでない
- 2, 議決を要する時は、出席者の過半数の賛成による。

(旅 費)

第 19 条 旅費の支給については、県条例に準ずる。

(経 費)

第 20 条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。

(会 費)

第 21 条 本会の会費は、次の通りとする。

- 1, 会員1世帯当たり年間8,400円とする。
- 2, 特別の事情があると会長が認めた時は、会費を減免することができる。

(帳 簿)

第 22 条 本会は次の帳簿を備える。

- 1, 会 則
- 2, 役員名簿 会員名簿
- 3, 議事簿
- 4, 備品台帳
- 5, 現金出納帳
- 6, 支出内訳書

(会計年度)

第 23 条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

附 則

- 1, 本会は昭和58年4月1日から実施する。
- 2, 平成元年5月20日改正
- 3, 平成7年5月20日改正
- 4, 平成8年5月18日改正
- 5, 平成10年5月16日改正
- 6, 平成12年5月6日改正
- 7, 平成13年5月19日改正
- 8, 平成16年5月14日改正
- 9, 平成19年5月20日改正
- 10, 平成20年6月4日改正
- 11, 平成28年5月11日改正
- 12, 平成29年5月14日改正
- 13, 令和4年5月21日改正

別表1

役 職 名	金 額	
会 長	年 額	30,000
副 会 長	年 額	20,000
監 査 員	日 額	5,000

別表2

役 職 名	金 額	
書記・会計(事務部)	年 額	1,682,000
書記・会計(進路部)	年 額	1,320,000

沖縄県立具志川高等学校育友会表彰規程

(目 的)

- 第 1 条 この規定は育友会の運営及び事業遂行のために貢献した人を表彰する場合の必要な事項を定めるものとする。

(基 準)

- 第 2 条 表彰の基準は下記のとおりとする。
- (1) 育友会役員として2年以上つとめ、その功績が顕著と認められる者。
 - (2) 育友会評議員として3年以上つとめ、その功績が顕著と認められる者。
 - (3) 本校育友会会員、又は会員以外のもので、本校の教育及び育友会に対し多大な貢献をした者、又は団体。

(表彰の時期)

- 第 3 条 表彰は原則として育友会総会において行う。ただし、特に必要があると認める時は随時に行うことができる。

(推薦及び選考)

- 第 4 条 被表彰者（受賞者）は、学校長又は育友会役員を通して推薦し総務部で選考する。

(決 定)

- 第 5 条 選考された者は育友会評議員会に諮って決定する。

(改 廃)

- 第 6 条 この規程は育友会評議員会において改廃することができる。